



## 第三者検証 意見書



レスポンシブル・ケア

### 統合レポート 2020 第三者検証 意見書

2021年7月19日

東京応化工業株式会社  
代表取締役 取締役社長 種市 順昭 殿

一般社団法人 日本化学工業協会  
レスポンシブル・ケア検証センター長

尾崎 智



#### ■報告書検証の目的

本検証は、東京応化工業株式会社が作成した「統合レポート 2020」(以下、レポートと略す)を対象として、下記の事項について、化学業界の専門家として意見を表明することを目的としています。なお、検証範囲は財務情報を除くものとします。

- 1) パフォーマンス指標(数値)の算出・集計方法の合理性および数値の正確性
- 2) 数値以外の記載情報の正確性
- 3) レスポンシブル・ケア活動および CSR 活動
- 4) レポートの特徴

#### ■検証の手順

- ・ 相模事業所において、各サイト(事業所、工場)から報告される数値の集計方法の合理性、および数値以外の記載情報の正確性について調査を行いました。調査は、レポートの内容について各業務責任者およびレポート作成責任者に質問すること、並びに資料の提示・説明を受けることにより行いました。
- ・ 御殿場工場において、相模事業所に報告する数値の算出方法の合理性、数値の正確性、および数値以外の記載情報の正確性の調査を行いました。調査は、各業務責任者およびレポート作成責任者に質問すること、資料提示・説明を受けること、並びに証拠物件と照合することにより行いました。
- ・ 数値および記載情報の調査についてはサンプリング手法を適用しました。

#### ■意見

- 1) パフォーマンス指標(数値)の算出・集計方法の合理性および数値の正確性について
  - ・ パフォーマンス数値は相模事業所および御殿場工場において、合理的な方法で正確に算出・集計されていることを確認しました。
- 2) 数値以外の記載情報の正確性について
  - ・ レポートに記載された情報は、正確であることを確認しました。原案段階では表現の適切性あるいは文章の分かり易さに関し指摘しましたが、現レポートでは修正されており、修正すべき重要な事項は認められません。
- 3) レスポンシブル・ケア活動および CSR 活動について
  - ・ 未曾有のコロナという環境下の中、リスクマネジメント体制がしっかりと迅速に機能し、自宅勤務などに対応した人事制度の変更、情報セキュリティの強化など確実に進められたことを評価します。
  - ・ 1979 年から始まった「社業」に著しく貢献した技術の成果に対し表彰する制度を、研究人材のみならず、2020 年から製造や検査部門迄拡大し運用を開始されたことを評価します。
  - ・ 御殿場工場は 2020 年に ISO-45001 の認証を取得し、今後国内全工場での認証取得を計画されています。郡山工場でも FBA 審査を受審し審査コメントを工場の安全活動に反映しています。災害ゼロに向けて、体系的な安全の取り組みを評価します。
  - ・ 水資源や製造廃液のリサイクルによる有効活用、高効率電気機器の採用による省エネルギー化など経営トップが環境負荷削減に向け投資効率のみならず、環境性能を意識した投資を行っていることを評価します。
- 4) レポートの特徴
  - ・ 2018 年版で統合レポート化、2019 年版ではサステナビリティを織り込んだ報告書として完成度を高め、今年度版では TCFD に関する情報を取り込んだ報告書として更に進化を続けています。読みやすさ、分かり易さに配慮した報告書になっています。
  - ・ マイナス情報(内部通報、環境保全、労働災害等)を含め、幅広く公開されています。

以上